

■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : テレビ愛媛
番組名 : イチ推し!
放送日時 : 11月29日 17:25~17:30
放送尺 : 1分



■古川洋平 出演

■ 実施概要

1

主催
TV局名

福島テレビ (FTV)

担当者名

東京支社 営業部 八代智仁 / 営業局 営業統括部 紺野大輔

開催小学校名

福島市立杉妻(すぎのめ)小学校

開催小学校
住所

福島市伏拝沢口1 8

参加人数/学年

115名 / 6学年

実施日 時間

2020年10月29日(木) / 10:25~12:05

実際の
所要時間

個人戦	
レクチャーパート	20分
予選パート1回目	20分
休憩	10分
準決勝パート1回目	15分
準決勝パート2回目	5分
決勝パート	15分
閉会式・写真撮影	10分

実施状況
所見

新型コロナウイルス感染拡大に努めながら、クイズ王・古川洋平さんを招いて開催した。福島市は福島県の中通り地方に位置し内陸である。一方で、西側には山間地域である会津地方。東側には太平洋に面する浜通り地方が位置する。福島市立杉妻小学校の児童自身は、日常生活の中で「海」に触れることがさほどないが、県内海洋の話題についても言及した「レクチャーパート」を大概の児童は真剣に聞いていた様子だった。クイズ大会はどの児童にも平等に機会をもってもらおうと、個人戦の形式をとった。全問正解者1名、1問のみ間違いが数名出るなど、その意欲関心の高さが伺える結果となった。準決勝、決勝においても、上位進出した児童はいち早く勝ち抜けようと真剣かつ素早い判断力で解答にあたっていた。また残念ながら進出できなかった児童たちも、自らも考える様子も垣間見え、その上で友人を精一杯応援するなど大変意欲的な様子が印象的だった。全体的には、内陸に位置する当校においても「改めて福島県は海に面している県」だということ、そしてその海は食を含め、自分たちの生活に大きな影響を及ぼし、また様々な課題があることを学習する機会となったと思う。

■古川洋平 出演

■ 記録写真

2

10月29日(木) 小学校名(福島市立杉妻小学校)



■古川洋平 出演

メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : 福島テレビ
 番組名 : サタふく
 放送日時 : 11月14日(土) 12時00分~14時00分
 放送尺 : 60秒



■古川洋平 出演

■メディア露出 新聞等

4

新聞社名 : 福島民報
 朝刊・夕刊 : 朝刊
 掲載日 : 11月1日(日)



海の生き物や環境問題に関するクイズを出した古川さん

乱獲といった課題をクイズで身近に感じてもらおう狙おうと、長崎、愛媛、沖縄の各県に続いて開催した。「クイズ王」としてテレビ番組で活躍するクイズ作家の古川洋平さんが児童にクイズを出そうな内容を分りやすく説明した。児童は「プラスチック」

この日、古川さんが来校し、初めに海の生き物や環境問題、海に関する文化など、クイズに出そうな内容を分りやすく説明した。児童は「プラスチック」

クイズで健康が脅かされている動物は「地球の表面積のうち海が占める割合は」フジラヤイルカが超音波を出す器官は「など十五問の三択問題に挑み、上位十二人が準決勝の早押しクイズに進んだ。準決勝を勝ち抜いた六人で早押し三問先取の決勝を行い、林佑成君が優勝した。

林君は「自分が優勝できると思ってたので驚いた。クイズを通して海の生物の命の大切さを知った」と充実した表情を見せた。

海洋ごみ増加や魚の乱獲

海の課題クイズで理解



早押しクイズで海への関心を高める児童

福島・杉妻小 林佑成君優勝

海の問題を楽しく学ぶ、子ども海のクイズ王プロジェクト「海のクイズ王」は十月二十九日、福島市の杉妻小で開かれ、六年生百十五人が三択や早押しクイズを通して、豊かな海を自分たちが守る責を負った。

◇ ◇

日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環で世界で深刻化する海洋ごみの増加や魚の

新聞社名 : 福島民友新聞
 朝刊・夕刊 : 朝刊
 掲載日 : 10月31日(土)

海のクイズに挑戦

小学生が海に関するクイズに挑戦するイベントが29日、福島市の杉妻小で開かれ、6年生約100人がクイズを楽しみながら海の生き物の特徴などを学んだ。

日本財団「海と日本プロジェクト」の一環で次世代に海を引き継ぐ活動を展開している「子ども海の知識士プロジェクト」実行委員会が、子どもたちにさまざまな海洋問題について考えてもらうことを目的に県内で初めて開催した。

クイズ王として多くのテレビ番組などで活躍し、今回の問題作成に携わったクイズ作家の古川洋平さんが「クジラやイルカが仲間と会話するとき超音波を出す器官の名前は何か(答えはメロン器官)」「地球全体の表面積のうち、海が占める割合は何割か(答えは7割)」などとクイズを出した。

子どもたちは早押しなどで優勝を争った。素早い回答で優勝した林佑成君(12)は「クイズを通して海の生命の大切さを知ることができた」と笑顔を見せた。

早押しで優勝した林君

■ 自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 実施概要

1

主催 TV局名	沖縄テレビ放送株式会社																															
担当者名	大城 泉季																															
開催小学校名	うるま市立田場小学校																															
開催小学校 住所	沖縄県うるま市字田場713																															
参加人数/学年	小学6年生(120名)																															
実施日 時間	2020年11月6日(金)13時30～15時00																															
実際の 所要時間	<table border="1"> <tr><td>チーム対抗戦</td><td></td></tr> <tr><td>司会挨拶</td><td>2分</td></tr> <tr><td>レクチャーパート</td><td>18分</td></tr> <tr><td>予選パート1回目</td><td>18分</td></tr> <tr><td>決勝パート1回目</td><td>14分</td></tr> <tr><td>予選パート2回目</td><td>20分</td></tr> <tr><td>決勝パート2回目</td><td>15分</td></tr> <tr><td>記念撮影</td><td>3分</td></tr> </table>	チーム対抗戦		司会挨拶	2分	レクチャーパート	18分	予選パート1回目	18分	決勝パート1回目	14分	予選パート2回目	20分	決勝パート2回目	15分	記念撮影	3分	<table border="1"> <tr><td>個人戦</td><td></td></tr> <tr><td>レクチャーパート</td><td>分</td></tr> <tr><td>予選パート1回目</td><td>分</td></tr> <tr><td>準決勝パート1回目</td><td>分</td></tr> <tr><td>準決勝パート2回目</td><td>分</td></tr> <tr><td>決勝パート</td><td>分</td></tr> <tr><td>表彰パート1回目</td><td>分</td></tr> </table>	個人戦		レクチャーパート	分	予選パート1回目	分	準決勝パート1回目	分	準決勝パート2回目	分	決勝パート	分	表彰パート1回目	分
チーム対抗戦																																
司会挨拶	2分																															
レクチャーパート	18分																															
予選パート1回目	18分																															
決勝パート1回目	14分																															
予選パート2回目	20分																															
決勝パート2回目	15分																															
記念撮影	3分																															
個人戦																																
レクチャーパート	分																															
予選パート1回目	分																															
準決勝パート1回目	分																															
準決勝パート2回目	分																															
決勝パート	分																															
表彰パート1回目	分																															
実施状況 所見	<p>コロナ禍の状況で開催学校の選定に苦戦した中、いち早く前向きに返答頂いたのが田場小学校だった。</p> <p>学校長が大変生徒思いで、様々な行事が中止になっている状況でどうか卒業生(6年生)に思い出を作ってあげたかとおっしゃっていて、実施に至って本当に良かったと思った。</p> <p>当日は卒業アルバムを撮影するカメラマンもいて撮影を行っていた。おそらく、卒業アルバムの1ページに思い出として刻まれると思う。</p> <p>司会の町田さんも前回港川小学校で一度イベントを実施している為スムーズに進行することが出来た。</p> <p>今回、スムーズに全てが順調に進んだ理由として技術の協力、プロのMCを用意できたこと、企画に賛同する大勢の社員がいたことがあげられる。</p>																															

■ 自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 記録写真①

2

1 1月6日（金） 小学校名（うるま市立田場小学校）



■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : 沖縄テレビ放送
 番組名 : ワッターまちやぐわー
 放送日時 : 11月26日(火) 15時50分~16時20分
 放送尺 : 60秒



■古川洋平 出演

■ 実施概要

1

主催
TV局名

NST新潟総合テレビ

担当者名

山崎幸弘

開催小学校名

新潟市立大形小学校

開催小学校
住所

新潟市東区大形町2-6-1

参加人数/学年

150名/5年生

実施日 時間

11月10日(火)13:15~15:10

実際の
所要時間

チーム対抗戦 レクチャーパート	30分
予選パート1回目	15分
決勝パート1回目	15分
表彰パート1回目	10分
予選パート2回目	15分
決勝パート2回目	15分
表彰パート2回目	10分

個人戦 レクチャーパート	分
予選パート1回目	分
準決勝パート1回目	分
準決勝パート2回目	分
決勝パート	分
表彰パート1回目	分

実施状況
所見

大形小学校5年生を対象に海のライブ・クイズイベントを実施致しました。チーム対抗戦方式で実施し、決勝ラウンドに進むためにクイズ王の問題を真剣な眼差しで取り組み、子供たちは積極的に海洋問題などについて学んでいました。また決勝ラウンドに進めなかったチームも決勝のチームを応援し、非常に一体感のある形でイベントを実施できたと思います。

■古川洋平 出演

■ 記録写真

2



■古川洋平 出演

■メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : NST新潟総合テレビ
 番組名 : NST News タッチ
 放送日時 : 11月10日(火) 18時09分~19時00分
 放送尺 : 110秒



放送局名 : NST新潟総合テレビ
 番組名 : スマイルナビゲーション
 放送日時 : 11月20日(金) 11時20分~11時25分
 放送尺 : 60秒



■ 自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 実施概要

1

主催
TV局名

NST新潟総合テレビ

担当者名

山崎幸弘

開催小学校名

新潟市立中野山小学校

開催小学校
住所

新潟市東区中野山1-1-1

参加人数/学年

65名/5年生

実施日 時間

11月16日(月)13:25～14:50

実際の
所要時間

チーム対抗戦 レクチャーパート	25分
予選パート1回目	20分
決勝パート1回目	15分
表彰パート1回目	5分
予選パート2回目	15分
決勝パート2回目	10分
表彰パート2回目	5分

個人戦 レクチャーパート	分
予選パート1回目	分
準決勝パート1回目	分
準決勝パート2回目	分
決勝パート	分
表彰パート1回目	分

実施状況
所見

中野山小学校5年生を対象に海のライブ・クイズイベントを実施致しました。テレビで見るようなクイズ大会の体験することができ、クイズ大会を通して環境問題にも触れ、これからの自分たちの行動を考えるきっかけとなったと学校の先生からお言葉を頂きました。

子供たちにとっても貴重な体験になったと評価頂き、良いイベントになったと感じております。

■ 自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 記録写真

2



■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : NST新潟総合テレビ
 番組名 : スマイルナビゲーション
 放送日時 : 11月30日(月) 11時20分～11時25分
 放送尺 : 60秒



■ 実施概要

1

主催
TV局名

岩手めんこいテレビ

担当者名

東京支社 営業部 東谷 仁史

開催小学校名

紫波町立赤石小学校

開催小学校
住所

岩手県紫波郡紫波町南日詰箱清水128

参加人数/学年

66名 / 6学年

実施日 時間

2020年11月18日(水) / 13:35~15:35

実際の
所要時間

レクチャーパート	20	分
予選パート1回目	20	分
決勝パート1回目	10	分
予選パート2回目	20	分
決勝パート2回目	10	分

実施状況
所見

当日はMITスタッフ3名にて運営させていただきました。
参加した子供たちも最初は緊張していましたが、クイズ王古川氏の進行とクイズ形式でのイベントということで徐々に盛り上がりを見せておりました。

イベント途中でマイク音声トラブルが若干ありましたが、先生方に臨機応変に対応していただき特に進行に影響ございませんでした。

先生方からも非常に楽しんで学べたということで喜んでいただきました。

■古川洋平 出演

■ 記録写真

2

11月18日（水） 小学校名（紫波町立赤石小学校）



■古川洋平 出演

■ メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : 岩手めんこいテレビ
 番組名 : 8っぴーサタデーPLUS
 放送日時 : 11月28日(土) 11時25分~11時45分
 放送尺 : 120秒



■ 自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 実施概要

1

主催
TV局名

福島テレビ (FTV)

担当者名

東京支社 営業部 八代智仁 / 営業局 営業統括部 紺野大輔

開催小学校名

福島市立大森小学校

開催小学校
住所

福島市大森南中道4

参加人数/学年

104名 / 6学年

実施日 時間

2020年11月26日(木) / 10:15~12:10

実際の
所要時間

個人戦	
レクチャーパート	25分
予選パート1回目	35分
(トイレ休憩)	5分
準決勝パート1回目	15分
準決勝パート2回目	10分
決勝パート	10分
表彰パート1回目	3分

実施状況
所見

新型コロナウイルス感染拡大に努めながら開催。福島市は福島県の中通り地方に位置し内陸である。一方で、西側には山間地域である会津地方。東側には太平洋に面する浜通り地方が位置する。司会にはローカル番組にも多数出演中の地元お笑いタレントを起用。終始楽しい雰囲気の中進行した。福島市立大森小学校の児童自身は、日常生活の中で「海」に触れることがさほどないが、県内海洋の話題についても言及した「レクチャーパート」を大概の児童は真剣に聞いていた様子だった。クイズ大会はどの児童にも平等に機会をもってもらおうと、個人戦の形式をとった。12問以上正解者が多数出るなど、その意欲関心の高さが伺える結果となった。準決勝、決勝もそれぞれ大接戦。上位進出した児童はいち早く勝ち抜けようと真剣かつ素早い判断力で解答にあたっていた。また残念ながら進出できなかった児童たちも、自らも考える様子も垣間見え、その上で友人を精一杯応援するなど大変意欲的な様子が印象的だった。全体的には、内陸に位置する当校においても「改めて福島県は海に面している県」だということ、そしてその海は食を含め、自分たちの生活に大きな影響を及ぼし、また様々な課題があることを学習する機会となったと思う。

■ 自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 記録写真

2

1 1月26日（木） 小学校名（福島市立大森小学校）



■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : 福島テレビ
 番組名 : サタふく
 放送日時 : 12月12日(土) 12時00分~14時00分
 放送尺 : 60秒



■古川洋平 出演

■ 実施概要

1

主催
TV局名

石川テレビ放送

担当者名

越塚 浩之 、 釜田 麻依子

開催小学校名

金沢市立金石町小学校

開催小学校
住所

石川県金沢市金石北4丁目1-1

参加人数/学年

97人/5、6年生 映像配信で1～4年生:192名

実施日 時間

2020年12月9日(水) 10:40～12:20

実際の
所要時間

チーム対抗戦	
レクチャーパート	18分
予選パート1回目	17分
決勝パート1回目	12分
表彰パート1回目	1分
予選パート2回目	16分
決勝パート2回目	12分
表彰パート2回目	1分

実施状況
所見

- <準備>
- ・海のクイズ王事務局の方にもご協力いただき、1時間半程度で準備は完了
 - ・感染対策のため、椅子の配置・換気・手指や器具の消毒に留意した
- <本番中>
- ・クイズ王の進行がとてどもテンポが良く、レクチャーパートでも子どもたちが退屈せずに聞いていた
 - ・ワイヤレスリリースボックスの動作が本番中に不安定になってしまい、もたつく場面があった。電池を本番前に交換しておくべきだった
 - ・プレス対応と運営スタッフを一部兼ねたため、記者をお待たせしてしまった。プレス対応者はそれに徹するべきだった。
 - ・学校の先生方のご協力により、子どもたちの誘導がとてどもスムーズだった。
- <片付け>
- ・早押しボタンの収納方法もマニュアル化されていたため、簡単に片づけることができた。

■古川洋平 出演

■ 記録写真①

2

12月9日（水） 小学校名（金沢市立金石町小学校）



■古川洋平 出演

■メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : 石川テレビ
番組名 : 北陸中日新聞ニュース
放送日時 : 12月9日(水) 15時42分~15時45分
放送尺 : 59秒



■古川洋平 出演

メディア露出 新聞等

4

新聞社名 : 北陸中日新聞
 朝刊・夕刊 : 朝刊
 掲載日 : 12月10日 (木)

難問クイズ正



古川洋平さんが出題するクイズに挑戦する児童—金沢市の金石町小で

の環境、生き物 金石町小児童学ぶ

クイズを通して海にまつわる知識を学ぶイベントが9日、金沢市若町小学校であった。テレビ番組で活躍するクイズ作家古川洋平さん(37)が来訪し、自ら作成したクイズを出題。五、六年生九十七人が、楽しみながら海の環境問題や文化などへの理解を深めた。(高橋雪花)

作家・古川さん出題 早押しにも挑戦

町小が選ばれた。総合的な学習の時間で実施した。古川さんが、海水温上昇による漁業への影響や海洋汚染などについて解説。その後、二十四グループに分かれ「アメリカのカリフォルニアでプラスチックにより健康が脅かされている。英語で「Sea Sick」という生き物は何か。(答えはラッコ)といった難問に挑戦し、正答を続けた上位五チームは、決勝戦として早押しクイズにも挑戦し盛り上がった。最後に、古川さんは「覚えて知識はどこかで必ず役に立つ」と呼びかけた。優勝チームの五年生新本幸輝さん(10)は「早押しボタンを押すときに見が険しいけど、「正解」と言われればよかった。海でいろいろな環境問題が起きていくことを学んだ」と話した。

新聞社名 : 北國新聞
 朝刊・夕刊 : 朝刊
 掲載日 : 12月10日 (木)

クイズに答える児童 —金石町小



クイズで海を知ろう!

金石町小で9日、子ども海のクイズ王プロジェクト「海のライフ・クイズイベント」が開かれ、5、6年生97人が海に関するクイズを通して海洋問題について理解を深めた。イベントは日本財団(東京)の「海と日本プロジェクト」の一環で、問題はクイズ作家の古川洋平さん(37)が手掛けた。児童は24チームに分かれて三択問題や早押しクイズに取り組んだ。優勝チームには海のクイズ王認定証が贈られる。優勝チームの別府秀悟くん(11)は「自分が答えて優勝できてうれしい。海のことについてももっと知りたいと思った」と笑顔を見せた。クイズ大会の様子は、1、4年生の各教室に配信された。

■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 実施概要

1

主催 TV局名	石川テレビ放送																
担当者名	越塚 浩之 、 釜田 麻依子																
開催小学校名	金沢市立大野町小学校																
開催小学校 住所	石川県金沢市大野町1丁目15																
参加人数/学年	47人／5、6年生																
実施日 時間	2020年12月11日（金） 13:50～15:20																
実際の 所要時間	<table border="1"> <tr> <td>チーム対抗戦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レクチャーパート</td> <td>20分</td> </tr> <tr> <td>予選パート1回目</td> <td>18分</td> </tr> <tr> <td>決勝パート1回目</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>表彰パート1回目</td> <td>1分</td> </tr> <tr> <td>予選パート2回目</td> <td>16分</td> </tr> <tr> <td>決勝パート2回目</td> <td>9分</td> </tr> <tr> <td>表彰パート2回目</td> <td>1分</td> </tr> </table>	チーム対抗戦		レクチャーパート	20分	予選パート1回目	18分	決勝パート1回目	10分	表彰パート1回目	1分	予選パート2回目	16分	決勝パート2回目	9分	表彰パート2回目	1分
チーム対抗戦																	
レクチャーパート	20分																
予選パート1回目	18分																
決勝パート1回目	10分																
表彰パート1回目	1分																
予選パート2回目	16分																
決勝パート2回目	9分																
表彰パート2回目	1分																
実施状況 所見	<p><準備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフほぼ全員が2回目のため、スムーズに準備ができた ・感染対策のため、椅子の配置・換気・手指や器具の消毒に留意した <p><本番中></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自局アナウンサーによる進行だったが、前回実施時に見学してもらったので問題なくできていた ・決勝戦の早押し台のマイクフォローは、1テーブルにつき担当者1名割当し、素早い対応を重視した ・決勝では1人の子が3問連続正当で一気に勝負がついてしまう場面もあったが、それでも子どもたちが盛り上がっていたので良かった ・コロナ禍ではあるが、学校側からは、海洋教育としての価値もちろん、子どもたちが生き生きと取り組んでいたことが良かったと評価いただいた <p><メディア露出について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回から2日間しか経過していなかったため、メディアの取材がなかった 																

■ 自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 記録写真①

2

12月11日（金） 小学校名（金沢市立大野町小学校）



■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : 石川テレビ
 番組名 : いしかわの海スペシャル
 放送日時 : 12月29日(火) 10時20分~10時50分
 放送尺 : 10分



END

■古川洋平 出演

■ 実施概要

1

主催
TV局名

株式会社 テレビ新広島

担当者名

好中奈々子

開催小学校名

広島市立段原小学校

開催小学校
住所

広島市南区的場二丁目4-19

参加人数/学年

61名/6年

実施日 時間

2020年12月18日 13:50～15:30

実際の
所要時間

チーム対抗戦 レクチャーパート	分
予選パート1回目	分
決勝パート1回目	分
表彰パート1回目	分
予選パート2回目	分
決勝パート2回目	分
表彰パート2回目	分

個人戦 レクチャーパート	25分
予選パート1回目	20分
準決勝パート1回目	10分
準決勝パート2回目	10分
決勝パート	10分
表彰パート	5分

実施状況
所見

【会場準備～入場】
新型コロナ対策として、当日は検温(自宅)と体育館入場前の消毒を実施した。予選用解答用紙は事前に席に配布し、筆記用具は各自持参。

【クイズ王紹介】
古川さんを知っている児童も多く、登場シーンは特に盛り上がった。古川さんの声かけには多くの生徒が反応をみせており喜んでいる様子だった。

【レクチャーパート】
児童たちは古川さんの解説のメモを取りながら積極的に学んでいた。

【予選ラウンド】
15問正解が1名、14問正解が10名、近似値クイズを9名で行った。準決勝進出者が決まったときには拍手をするなど、全体で盛り上がっている様子だった。

【準決勝パート】
Aパート、Bパートともに進出者の回答数のバランスがよく接戦だった。
準決勝敗退者には「元氣張ったね賞」を贈り、みんなで称えることができた。

【決勝パート】
児童の回答数が多く接戦で盛り上がった。

【表彰式】
古川さんから優勝者インタビューがあり、優勝者をみんなで祝った。
決勝進出者にも景品を贈り、みんなで健闘を称えることができた。

■古川洋平 出演

■ 記録写真①

2

12月18日（金） 小学校名（広島市立段原小学校）



■古川洋平 出演

■ メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : テレビ新広島
番組名 : TSSプライムニュース
放送日時 : 12月18日(金) 16時50分~19時00分
放送尺 : 48秒



■ 自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 実施概要

1

主催
TV局名

テレビ長崎

担当者名

疋田 涼

開催小学校名

長与町立長与南小学校

開催小学校
住所

長崎県西彼杵郡長与町高田郷1196-80

参加人数/学年

5年生 94人

実施日 時間

2020年12月22日(火) 13:45~15:20

実際の
所要時間

チーム対抗戦 レクチャーパート	25分
予選パート1回目	19分
決勝パート1回目	6分
表彰パート1回目	なし
予選パート2回目	17分
決勝パート2回目	9分
表彰パート2回目	なし

個人戦 レクチャーパート	分
予選パート1回目	分
準決勝パート1回目	分
準決勝パート2回目	分
決勝パート	分
表彰パート1回目	分

実施状況
所見

学年ではSDGsに関連し環境問題についても学習を重ねている。学校としてもイベントではなく授業の一環と捉えていたことからレクチャーパートでもきちんとメモをとる児童の姿も多数あった。

予選では正答率が高く、1回目、2回目ともに近似値クイズまでもつれ込む展開に。1問1問で子どもたちがチーム内で相談しあったり、回答で喜んだり残念がったりと豊かな表情が多数みられた。

1回目の決勝では1チームが連続正答ですぐに優勝が決まったことから多くの児童が残念な表情を浮かべたことから、当初は決勝進出チームは2回目は決勝辞退との方針を急遽変更して1チームを除いて実施した。

2回目の決勝では3チームがリーチに至ったことから緊張した雰囲気にも包まれた。いずれも誤答がまったくなく、慎重ながらも積極的な児童が多数参加し、大いに盛り上がった。

学校側もイベントとしても、学習としても高い評価を頂いたと認識している。

■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 記録写真

2

12月22日（火） 小学校名（ 長与町立長与南小学校 ）



■自局アナウンサー（タレント）にて開催

メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : KTNテレビ長崎
 番組名 : 海と日本プロジェクト in ながさき
 放送日時 : 12月31日(木) 16時54分～17時00分
 放送尺 : 3分00秒



■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 実施概要

1

主催
TV局名

株式会社 テレビ新広島

担当者名

好中奈々子

開催小学校名

学校法人鶴学園 なぎさ公園小学校

開催小学校
住所

広島市佐伯区海老山南2丁目2-30

参加人数/学年

66名/6年

実施日 時間

2020年12月23日 13:20～15:00

実際の
所要時間

チーム対抗戦 レクチャーパート	分
予選パート1回目	分
決勝パート1回目	分
表彰パート1回目	分
予選パート2回目	分
決勝パート2回目	分
表彰パート2回目	分

個人戦 レクチャーパート	20分
予選パート1回目	20分
準決勝パート1回目	10分
準決勝パート2回目	10分
決勝パート	10分
表彰パート	5分

実施状況
所見

【会場様子～入場】
新型コロナ対策として、当日は検温(自宅)と体育館入場前の消毒を実施した。予選用解答用紙は事前に席に配布し、筆記用具は各自持参。
また事前に図工の時間に児童が海に関する絵を描き、会場装飾にした。

【総合司会、選手宣誓】
学校側の希望により、総合司会(クイズ王役アナウンサー)の紹介や選手宣誓を児童が行った。

【レクチャーパート】
児童たちはメモを取りながら積極的に学んでいた。河野アナの説明にも反応が良かったため、コミュニケーションを取りながらの進行になった。

【予選ラウンド】
この日に向けて学校をあげて勉強をしていた為、勉強した問題がでると先生の方を見て喜んでいる様子だった。また15問正解が4名、14問正解が11名、近似値クイズもピタリ賞が3名でなど優秀だった。

【準決勝パート】
早押し機械に進出者も、観覧児童もテンションが上がっている様子だった。準決勝パートは接戦で盛り上がった。また学校側の希望でマイクフォローも児童が行った。

【決勝パート】
先生方の中でも優勝候補といわれていた海好きの児童の圧勝で、予想以上に早く優勝者が決まる展開となった。

■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 記録写真①

2

12月23日（水） 小学校名（なぎさ公園小学校）



■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : テレビ新広島
番組名 : 満点ママプラス
放送日時 : 2021年1月8日(金) 10時50分~10時55分
放送尺 : 50秒



■ 自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 実施概要

1

主催 TV局名	岩手めんこいテレビ		
担当者名	東京支社 営業部 東谷 仁史		
開催小学校名	盛岡市立緑が丘小学校		
開催小学校 住所	岩手県盛岡市黒石野1丁目6-1		
参加人数/学年	97名 / 6学年		
実施日 時間	2021年1月28日(火) / 13:30~15:30		
実際の 所要時間	レクチャーパート 20 分 予選パート1回目 20 分 表彰パート1回目 分 予選パート2回目 20 分 表彰パート2回目 分 予選パート3回目 分 表彰パート3回目 分	決勝パート1回目 10 分 決勝パート2回目 10 分 決勝パート3回目 分	
実施状況 所見	<p>当日はMITスタッフ3名にて運営させていただきました。 都内が緊急事態宣言中でしたので岩手県内在住のスタッフのみで進めさせていただきました。</p> <p>子供たちはこのイベントを大変楽しみにしていたようで事前に予習してくる子もいたようです。</p> <p>当日はMITのアナウンサー司会でタイムスケジュール通りに進行し、無事に終了しました。</p> <p>先生方からは今年度イベントがあまり実施できない中で非常に楽しみながら学んでくれたということで喜んでいただきました。</p>		

■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 記録写真①

2

1月26日（火） 小学校名（盛岡市立緑が丘小学校）



■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : 岩手めんこいテレビ
 番組名 : 8っぴーサタデーPLUS
 放送日時 : 2月6日(土) 11時25分～11時45分
 放送尺 : 120秒



■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■ 実施概要

1

主催 TV局名	石川テレビ放送																											
担当者名	越塚 浩之 、 釜田 麻依子																											
開催小学校名	金沢港クルーズターミナル(金沢みなとのてんらんかい)																											
開催小学校 住所	石川県金沢市無量寺町リ65																											
参加人数/学年	48人/5、6年生																											
実施日 時間	2021年2月27日(土) 10:00～11:20																											
実際の 所要時間	<table border="1"> <tr> <td>チーム対抗戦 レクチャーパート</td> <td>20分</td> </tr> <tr> <td>予選パート1回目</td> <td>18分</td> </tr> <tr> <td>決勝パート1回目</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>表彰パート1回目</td> <td>2分</td> </tr> <tr> <td>予選パート2回目</td> <td>18分</td> </tr> <tr> <td>決勝パート2回目</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>表彰パート2回目</td> <td>2分</td> </tr> </table>	チーム対抗戦 レクチャーパート	20分	予選パート1回目	18分	決勝パート1回目	10分	表彰パート1回目	2分	予選パート2回目	18分	決勝パート2回目	10分	表彰パート2回目	2分	<table border="1"> <tr> <td>個人戦 レクチャーパート</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>予選パート1回目</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>準決勝パート1回目</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>準決勝パート2回目</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>決勝パート</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>表彰パート1回目</td> <td>分</td> </tr> </table>	個人戦 レクチャーパート	分	予選パート1回目	分	準決勝パート1回目	分	準決勝パート2回目	分	決勝パート	分	表彰パート1回目	分
チーム対抗戦 レクチャーパート	20分																											
予選パート1回目	18分																											
決勝パート1回目	10分																											
表彰パート1回目	2分																											
予選パート2回目	18分																											
決勝パート2回目	10分																											
表彰パート2回目	2分																											
個人戦 レクチャーパート	分																											
予選パート1回目	分																											
準決勝パート1回目	分																											
準決勝パート2回目	分																											
決勝パート	分																											
表彰パート1回目	分																											
実施状況 所見	<p><準備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフほぼ全員が2回目のため、スムーズに準備ができた ・感染対策のため、椅子の配置・換気・手指や器具の消毒に留意した <p><本番中></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自局アナウンサーによる進行だったが、大野小学校に続いての開催とあり特に問題無く進行で来た。 ・決勝戦の早押し台のマイクフォローは、1テーブルにつきマイクを一台据え置き新型コロナウイルス対策と迅速なマイクフォローができた。 ・小学校開催と違い保護者や一般の方が見学し大変盛り上がった。保護者や関係者からも楽しみながら学べていると好評だった。 <p><メディア露出について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川テレビの番組にて放送予定 																											

■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■記録写真①

2

2月27日（土） 金沢港クルーズターミナル



■自局アナウンサー（タレント）にて開催

■メディア露出 TV(自局以外も)

3

放送局名 : 石川テレビ
番組名 : いしかわの海
放送日時 : 3月6日(土) 11時40分~11時45分
再放送 3月13日(土) 11時40分~11時45分
放送尺 : 番組内で1分程度を予定

未来の海に出来ること宣言

■リアルクイズイベントに参加した子ども達からの宣言

リアルクイズイベントを実施した8エリア16校の児童たち約1800名の
「未来の海に出来ること」宣言

「未来の海に出来ること」宣言シート

「未来の海に出来ること」宣言

子ども海のクイズ王プロジェクト「海のライブ・クイズイベント」を体験して
皆さんが感じた「今海に起こっている問題」。

それを解決するために、これからどのような行動をとれば、素敵な海をずっと
残していけるか。

下の宣言記入欄に、宣言を記入してください。

宣言例

- ・レジ袋を使わないでごみを減らす!
- ・海に生きている生物を知って海をもっと好きになる!
- ・海での事故を無くすためにライフセーバーになる!

難しい言葉は必要ありません。皆さんが思った、感じたことをそのまま記入してください

「未来の海に出来ること」宣言 記入欄



先生アンケート

■リアルクイズイベントを実施した小学校の教職員へ事後アンケートを実施。

16校47名の教職員からの回答

先生へのアンケート（シート）

アンケート記入のお願い

海と日本プロジェクト 子ども海のクイズ王プロジェクト「海のライブ・クイズイベント」を開催頂きありがとうございました。
 今回の「海のライブ・クイズイベント」にどのような感想やご意見を持っているかをお伺いする為、アンケートの記入をお願いいたします。
 ご回答頂きました内容につきましては、来年度以降の事業のさらなる充実に役立ててまいりますので、是非ご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。
 ※できましたら開催終了後、2週間以内に記入をお願いいたします。

実施日	
県名 市区町村名	
小学校名	
参加小学生人数	
記入日	

Q1 このイベントはいかがでしたか。また、その理由を教えてください。

1 満足した 2 満足しなかった 3 どちらともいえない

理由

Q2 今回のイベントを通じて、先生が思ったことを自由にお書きください。

（気づいたこと・驚いたこと・こうしたほうが良い、何でもかまいません）

※イベント終了後の生徒さんたちの行動に変化がありましたら、それをお願いします。

ご協力ありがとうございました。

■リアルクイズイベントを実施した小学校の教諭へ事後アンケートを実施。

16校47名の教職員からの回答

Q1 このイベントに満足でしたか？

47名すべての教職員が「満足」と回答（100%）

その理由

<ul style="list-style-type: none"> ・児童が楽しみながら、海について興味をもつことができたから。 ・海の生物、海に関わる仕事、海の問題、海に関する言葉など多岐にわたる内容で、それぞれの得意分野を持ち合いながら、楽しく取り組めた ・楽しく海のことを学ぶことができた。 ・本格的な設備やアナウンスを体験することで、子どもたちは意欲的だった。 ・コロナ情勢下で、子どもたちにとってよい体験活動ができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染予防の関係上、今年度は学校行事が少なくなっている中で、イベントを開くことで子ども達を元気づけることができて良かった。 ・予選クイズ・グループ対抗・早押し機を使用するなど、子ども達が盛り上がる内容でとても満足していた。また、楽しむだけでなく海についての知識も興味もさらに深まった。 ・クイズ王・古川さんのテンポの良いスムーズな進行で、多くの子ども達にクイズを楽しむチャンス頂きました。子ども達もとても喜んでいました。良い機会をありがとうございました。（古川さんにも宜しくお伝え下さい。） ・子ども達が楽しそうに活動していた。 ・海について学習する良い機会になった。
子ども達が海のことでも知ることができ、クイズに答えながら新しいことも知ることができるので良いと思った。
海に関する情報が多方面から伝えられ、子ども達は集中し、楽しく学ぶことが出来ました。クイズの出題の仕方もグループの編成もとても子ども達の実態に合っていました。
クイズ形式で海に関することを学び、海について興味関心を持つことができたから
「クイズ大会で優勝する」という目標に向かって、初めのレクチャーからしっかりと学び、いきいきと参加する姿が見られました。
<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ時間とそれを生かして楽しむ時間が両方あり、メリハリがあったため ・子ども達の終了後の言葉にも「楽しかった！」が多数あったため ・滝澤悠希アナウンサーが子ども達と楽しくやりとりしていただき、盛り上がったから。 ・海について考えるきっかけがあり、思い出を作ることができたから。 ・本格的な機材に触れる機会は子ども達にとって良い思い出になったから
海の問題や生物など様々なことについて学ぶことができたからです。
<ul style="list-style-type: none"> ・海の問題や生物など様々なことについて学ぶことができたからです。
コロナ禍で様々な行事が中止となり、学校生活の中でも勉強の割合が多い子どもたちが、楽しくイベントに取り組み、学ぶ姿を見てとてもありがたい機会をいただけたと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・クイズの大会かと思いましたが、その前にはどの児童も参加できるようにレクチャーの時間があり、知識が少ない子も参加できるイベントであったので、満足度が高いイベントだと思ったから。また、準決勝や決勝でクイズのボタンのあつたので、より大会がもりあがったと思う。 ・今年度はコロナ禍で子どもたちにとってなかなかイベントごとがない中、よい機会をいただいた。（感染症対策をしっかり講じていただいた） ・子どもたちに出番を与えていただき、役割をもたせていただいた。 ・なにより、アナウンサーにお越しいいただき、テレビに映るという点が、子どもたちのモチベーションになったと感じる。 ・問題の内容も、今の情勢に合ったもので、とてもよかったです。
コロナ渦の中、子ども達特に最高学年の6年生に思い出をつくる機会が少なかった為、とても良い機会となりました。司会をさせて頂いたり、装飾を作ったりと子ども達が積極的に参加させていただけたのもよかったです。
様々な学習を積んだ6年生にとって非常に興味深い問題が多かったから。
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策がしっかりとされていた ・子どもの知的欲求を満たす内容であった（レクチャー、クイズ） ・クイズ番組形式の展開を楽しめた
子ども達が楽しめるようなクイズ形式の中に考えさせたい話題も盛り込まれ、いい学習となった。ちょうど総合的な学習で環境について学習（調べて）いたので興味を持って取り組んでいた。
子ども達がとても楽しそうに参加していました。
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃どちらかというと主体的に学ぶ内容ではないが、クイズという形で意欲的に取り組めた。 ・クイズそのものが復習となっていた。 ・子ども達が楽しく参加することができた。
問題も子ども達に丁度良いレベルで何問も解くことが海について詳しく知ることができたから

Q1 このイベントに満足でしたか？

その理由

児童が楽しめるイベントでした。司会者の方（古川さん）が上手に子どもたちをほめてくれていて嬉しかったです。
本格的なクイズ形式で子ども達が貴重な体験が出来て良かった。
海に関連して環境についてもたくさん問題が挙げられていたので、子ども達は身近な問題として参加でき良かったです。
レクチャーパートでは海洋問題について学びました。学びの中でもクイズ形式を取り入れ、楽しみながら知識を蓄えていくことができました。その後の予選ラウンドはチーム内で交流する関わり合いが出来ていました。決勝ラウンドではそれぞれの児童の活躍が見られてとても楽しかったです。
海洋を取り巻く環境問題について、児童に分かりやすい展開で実施されていた。クイズ形式であることやグループ活動を取り入れることなどが児童の実態に合っていたと思う。
金石町小学校の子ども達が海のことについて詳しくびっくりした。子ども達の良さが出たイベントだった。お疲れ様！
海のことを知れ、日々の知識や経験を生かすことができるクイズがたくさんあったから
本校の総合的な学習の時間のテーマ「海洋教育者」とマッチしていたから
内容がこれまで学習してきた海洋教育とぴったりで、次の課題みつけのきっかけになり、子ども達の探求心に灯が付きました。
たくさん問題があり、知らないことも分かった。知ってることも適宜入っており正解できた。
子ども達が興味を持って海について学んでいた。
地元の問題があったので良かった。レベルも丁度良かった。
海のことを通じて子ども達同士がつながり、協力する姿が見られ、とても楽しんでいました。
子ども達は楽しく海のことを学べていた。
楽しみながら学ぶことができ、良い思い出となった。ボタン（押しボタン）が本格的で貴重な体験となった。
子ども達がとても楽しそうに活動に参加していました。
古川さんの引き込まれる話し方、楽しいクイズ等もあり、子ども達が良い姿で参加できたため
海に関するクイズを通して環境問題について考える良い機会となったと思います。幅広い分野で多くの問題を出していただき、子ども達は興味津々で大変盛り上がりました。
子ども達が楽しみながら海に関する知識を深められ良かった。
テレビでやっているような事を学校で体験できたから。
教室で参加していた1～4年生も会場の5・6年生と一体となって取り組めた。事前にレクチャーがあったので、低学年の子ども達も三択クイズで自信をもって取り組めた
クイズを通して、海に近い大野町の良さや海に関係する仕事や港の役割等に気づき、海を大切にしていこうという態度を養うことの良い機会となったから
とても分かりやすく海洋教育ができ、子ども達の最初の取っ掛かりとしては良かった。
クイズの内容のレベルが丁度良く、子ども達がとても意欲的だったため。また実際にクイズ番組のような押しボタンを使わせていただけたので、子ども達はとても嬉しかったと思う。本物のクイズ大会を味わえたため。
社会科やその他の教科で学習したことがクイズの内容として出題され、子ども達がとても意欲的に参加していたから
・子ども達は大変興味を持ちとても意欲的な態度であった。終了後もイベントの様子を話題にし、友達同士で話し合う姿が見られた。
・TVの撮影もあり、とても刺激的なイベントだったようです。

Q2 このイベントで先生が思ったことを自由に書いてください。(FA:46回答)

<p>児童が、こんなにもクイズに夢中になることに驚きました。</p> <p>3択クイズの一喜一憂ぶりや、早押し機に前のめりになって問題を聞き入っている様子を見て、このイベントに参加できてよかったと思います。</p> <p>また、古川氏の出題の仕方や間の取り方に学ばせてもらいました。子どもの感想にも「乗せ上手」という言葉が多くありました。また、子どもが納得できるようにルールを明確にしたり、決勝に進んだ児童全員が早押し機を押せるようにしたりと細やかな配慮をいただき、本当にありがたかったです。</p> <p>正答の補助として、視覚的な資料が加わるとさらに楽しめ、学べるのではないかと思います。例えば、ペンギンの頭が三角になったところや初の気象台の場所を示す地図などです。</p>
<p>時間がおしてしまった。説明や解説が丁寧であったため、子どもたちが迷いなく参加できて良かったのだが、進行の中に、削れる部分が合ったように思った。予選も、近似値で競ったが、判定に時間がかかっていた。一気にふるい落とせる問題があっても良かったかもしれない。</p> <p>音響・司会進行ともにプロの方にやってもらえたので、とても助かりました。</p> <p>決勝ラウンドでは、1人1人の名前を紹介しながら早押しボタンを1回は押せたので、子ども達も早押しボタンを連打することなくクイズに参加することができた。</p> <p>予選ラウンドの最初の5問程度は簡単な問題を楽しんでもらうように工夫がされていたので、子ども達みんながクイズを楽しめた。当日もお伝えしましたが、そのサービス問題の時には、各グループの答えが周りにあまり知られないように、「せーの」のかけ声で解答ナンバーカードを上げたほうが良いと思いました。大会当日もすぐに対応して頂き、誠にありがとうございました。</p>
<p>音響が聞きづらかった。</p> <p>スライドの字が細かくて後ろの子ども達が見づらかった。</p> <p>決勝ラウンドでスライドが見えること見えない子がいて不満が出た。配置を臨機応変に対応した方が良い？</p> <p>とても楽しめるイベントでした。ありがとうございました。</p>
<p>3～4人のチームという人数も丁度よく、みんなで相談しながらクイズに答えて楽しそうに活動していました。内陸育ちなので海に興味を持ってたくさん本を読んだ子もいました。早押しクイズはすぐに決着がついたので、もう少し難しくてもよかったかな。それか5問正解でチャンピオンでの良かったかな（結果論ですが）と思いました。コロナで様々な行事が無くなってしまっていたので、今回は本当に良かったです。</p> <p>前の週に釜石へ修学旅行に行ったこともあり、海のことを身近なものとして聞くことが出来ました。</p> <p>早押しクイズのインタビューの位置、立つ位置は迷いました。後半のように前の中央にしゃがむのがいいのかなと思いました。</p> <p>3択クイズは簡単なものから難しくなるというところがとても良かったです。みんなが参加できました。</p>
<p>テレビのクイズ番組と同じようにボタンを押してクイズの答えを言う体験やチームでクイズの答えをかんがえて回答する活動が良いと思いました。楽しみながら学ぶことが出来て良かったです。</p> <p>今回に向けて、早くから準備、ありがとうございました。自分のチームが負けても他のチームを応援したり、一緒に喜んだりする姿が見られ、とてもうれしく感じました。卒業前のステキな思い出となったと思います</p> <p>今回学んだことをもとに自然や環境に興味を持って様々なことに取り組んでいける子どもになってほしいと思います。</p> <p>ありがとうございました。お疲れ様でした。</p>
<p>本日までの準備・進行ありがとうございました。子ども達にとって良い時間を過ごすことができたと思います。このような時間を提供して下さったことに感謝申し上げます。</p> <p>大きな構成も学ぶ→生かすがあり、良かったです。</p> <p>事前に文字のテキストがあれば子ども達は事前に調べていたと思います。</p>
<p>レクチャーの場面にクイズにつながるヒントがちりばめられ、子どもが前のめりに学ぶことができた（放送を楽しみにしている様子もあった）</p> <p>事前に資料等を渡しておくこの会に向けて家などで学び、ある程度知識をつけた状態でくる子がいるかもしれないと思った。（レクチャーで覚えられず他人任せになる子どもが複数いた）</p> <p>今回は無理であったが、やはりクイズ王との対戦や海の仕事にかかわる人々からのメッセージ（この会、企画への思い）を直接伝えていただく等の活動がある</p> <p>とさらに深い学びになると思った。</p> <p>お忙しい中、このプロジェクトの実施をしてくださり、ありがとうございました。</p>
<p>・レクチャーパートの前に、そのあとにクイズ大会があるということを伝えてくださっていたので、話をよく聞いていたと思いました。</p> <p>・予選のクイズ大会は、スムーズに流れていったが、「正解した人？」など、問いかけていただくと、子供たちからも声が出てもう少し盛り上がったと思います。</p> <p>・レクチャーパートの前に、そのあとにクイズ大会があるということを伝えてくださっていたので、話をよく聞いていたと思いました。</p> <p>・予選のクイズ大会は、スムーズに流れていったが、「正解した人？」など、問いかけていただくと、子供たちからも声が出てもう少し盛り上がったと思います。</p>
<p>環境問題もからめながら海のことについて学ぶことができていたと思います。日頃の勉強が苦手な児童も、海のことなら詳しいようで、スポットライトが当たるいい機会になった児童も多く、とてもいい自信につながりました。</p> <p>また、イベントでは河野アナウンサーをはじめ、スタッフの方々が本格的なクイズイベントになるようさまざまな工夫から会を盛り上げて下さったので、子どもたちの中では期待以上の思い出になったようです。</p> <p>やはり海のこととなると男の子の方が詳しいようで（魚、釣りなど）、海に関するクイズの中でも女の子が正解しそうな内容があればいいかなと思います（すみません、具体的には難しいのですが・・・）。</p>
<p>この度は貴重な機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。準備等も含めて、今回の企画に携わって下さった皆様に感謝御礼申し上げます。</p>

Q2 このイベントで先生が思ったことを自由に書いてください。(FA: 46回答)

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でなかなか出番等がない中、役割をしっかりとって取り組むことができた。 ・選手宣誓、貼りもの、司会など、学校としての要望をかなえていただけたことで、子どもたちにとって「自分たちの行事」として捉えることができたように思う。 ・アナウンサーによる会の進行、時間設定、内容等とても素晴らしく、子どもたちもこの時間を楽しみ、率直に喜んで参加していた様子が印象的であった。
<ul style="list-style-type: none"> ・マイク持ちと得点について 当日をお願いして児童にやって貰ったため、動きがごたつき、スムーズにマイク持ちができていませんでした。すみません。一度、練習をさせるべきでした。また、本番直前にマイクが壊れてしまうというアクシデントもあり、マイクは大目に用意しておこうと思いました。 ・決勝について 思いの他、早く決まってしまう。どうやらとても海に詳しい子だったようで。準決勝は勝ち抜きでやった為、盛り上がりましたが決勝戦のシステムを変えてみてはどうかと思いました。 ・総合司会について 河野アナウンサーが司会をしてくださり、とても盛り上がりました。やはり、あそここのパートは先生では難しかったように感じますので、プロの方をお願い出来て良かったです。
<ul style="list-style-type: none"> ・採点方法について 個々で採点するという形でしたが、近くの児童と一緒に相談して解答を書くという様子が見られたので、準決勝進出への公平性という面から考えると改善も必要なのかなと思いました。 一人に1台IpadやGoogle chromeなどを持つことができればオンラインで回答するという方法もあるのかなと思いました。 ただ子どもたちはみんな真剣に取り組む、とても楽しんでいたのでこのような機会をいただけたことに感謝いたします。ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> ・レクチャーパートやクイズの答えの解説に画像があると分かりやすい ・歓声はあげられないが、マスクをしているので声は出してもよかったのではないかな。(もっと盛り上がったかも) ・クイズという方法で伝えたいことを表現することができる。他の場面でも活用したい ・日程がややきつめだった。対象学年が下がると休憩10分では厳しいのではないかな。
<p>とてもいい学びをさせていただきました。クイズの前に学習時間があつたのがとても良かったです。 全体でクイズを解いていくとき間違ったチームは参加できなくなりました。小学生なのでやはりかわいそうだなと思いました。全問参加させて正解数の多いチームに決勝とした方がいいかなと思いました。</p>
<p>スムーズな進行でとても良かったです。子どもたちも盛り上がりました。ありがとうございました。</p>
<p>同じチームが2度優勝しなくて良かった。そうなら嬉しみがみ、ねたみも生じるかも。 クイズ王の店舗がとてもよく、子どもたちがしっかり参加できた。 イベントをして下さってありがとうございました。</p>
<p>子ども達がとても楽しんでいました。また古川さんの司会がとても上手で本当のクイズ番組のようでした。 たくさんの子に早押しクイズをさせたかったですが、人数も多くこれ以上は難しいかなと思いました。</p>
<p>子どもの気持ちに配慮しながら進行していただいていたと思いました。近似値クイズによる調整など良く寝られていて驚きました。 自分が授業をするときに参考になる手法がたくさんあり、子どもだけでなく教師にとっても学ぶ機会になりました。ありがとうございました。</p>
<p>クイズが難しすぎず、簡単すぎず、ちょうど良かった。 テンポよく進行されていてあつという間の2時間でした。</p>
<p>コロナ禍の中で子ども達が楽しそうに生き生きと活動ができる場をつくっていただき、ありがとうございました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・海洋問題について学んだことで自学メニューとして翌日取り組んできた児童の姿がありました。 ・このような楽しいイベントをきっかけとして子ども達の可能性を広げることにつながるのだと思いました。 ・テレビ番組づくりが様々な人や時間の積み重ねて出来ていることを学ぶことが出来ました。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回のイベントがクイズ形式で学びを進めていけること、または興味を持つきっかけにもなっていることが素晴らしいと感じた。 ・子ども達も話を一生懸命に聞き、環境問題に興味関心を持ち、変容ぶりが伺えた。
<p>5～6年生は体育館で頑張っていた。それを教室でみていた1～4年生も飽きることなく先輩たちと共に考え、応援した。コロナの中、良く工夫されていて良かった。子ども達や教師集団の自信につながった。</p>
<p>徐々に子ども達の飛び跳ね、喜ぶ姿を見ました。また来年も来てほしいです！ありがとうございました。</p>
<p>校内放送とつないで各教室でもクイズを体験出来て良かった。子ども達も大変喜んでいて。 SDGsを理解できる良い機会となった。ありがとうございました。</p>
<p>クイズ王の進め方が上手い/司会との間合いが教師の手本となった/子ども全員を生かそうとしてくれた石川TVスタッフに感謝</p>
<p>海のこを幅広くとらえた出題が良かった。司会者のインタビュー内容やコメントが良かった (なぜ正解が分かったかの理由を聞く)</p>
<p>はじめテレビの音が聞こえない時間が続いた</p>

Q2 このイベントで先生が思ったことを自由に書いてください。(FA:46回答)

とにかく楽しんで取り組んでいたのが良かった。古川さんのお話が分かりやすく良かった。
お正月に向けて、スーパーなどで魚を見た時にいろいろと考えるきっかけになったと思う。
海に関するクイズは子どもと一緒に楽しみながら勉強させていただきました。企画ありがとうございます。
こうした企画は学校だけで準備したらとても大変なのでとても有難かったです。
子ども達が思ったよりも海のこと詳しく、普段とは違う一面に気づくことができました。
5年生は今、総合学習で海洋問題について調べているので、今回のイベントはつながりを意識して参加できたと思います。海と言っても食べ物、魚、動物、歴史と様々な知識を得る機会にもなり、楽しかった。
これを機に子ども達ももっと海に関心を持ってくれたらと思います。
海の近くの学校であるが、なかなか海について考えることをしていないように感じていた。今回のイベントで子どもたちが改めて海が近くにあること、その海が今、どのような状況になのかを意識する良いきっかけになった。そして今後は普段の生活に「海について」をかんがえさせるような機会を取り入れていきたい。
普段は意識していませんでしたが、やはり海の近くに住んでいる子ども達なので生活経験の中から、考えたり、知識があったりするのだなと子ども達の力に驚きました。子どもたち自身も海を意識する良い機会になったと思います。ありがとうございました。
低学年には難しい問題もあったが、縦割りグループでのチーム編成だったため他学年と共に楽しめていた。
1～4年生には難しい問題もあったが、挑戦することが良かった。良い体験でした。
クイズに参加することで、海洋教育を始めるにあたって良いきっかけとなり、海に親しもうという姿が見られた。
イベントの終わりに子ども達にアンケートを書かせるだけでなく振り返り（乾燥）を発表させて全体で少し交流があると良かった。
18グループ中、決勝に進めるのは5グループ、確かに子ども達は楽しく活動していたが、決勝に行けなかった子はそこから急に意欲が下がった
このクイズをきっかけに子ども達が少しでも海に興味を持ち、自分から「～について調べてみたいな」とか「～に行つて確かめたい」とか「～についてもっと勉強したいな」という思いを持ってくれたらいいと思う。座席の配置の仕方が良かった。今回は5・6年生の縦割り班で編成（異学年で協力出来ていた。子ども達の喜んでた）したが、それほど密ではなく、ある程度ソーシャルディスタンスを取れた。
今回のクイズ形式は決勝戦に行けるチームは2回戦やっつてのべ10チームだったため、6チーム（実際は5チーム）はステージ前・上に立てなかった。仕方ないことではあるが教室に戻つてふてくされてしまう児童が数名いた。そのことで腹を立ててしまう（残念とがっかりする）のは小学生発達段階では仕方がないが、そういう行動・言動があったということをお伝えしておきます。
・イベントを通じて海や環境のことに目を向けるきっかけ度になったと思います。楽しい学びの機会をいただけたことにとても感謝しております。ありがとうございました。
・何度も打ち合わせに来ていただき、コロナなど様々なことにご配慮いただきありがとうございました。
・地球上の海の占める割合についての問題について、7割→70%の方が子ども達には分かりやすいです。（「割」はあまり深く扱っていないので）
大変スムーズな進行で時間的にも余裕があり、十分満足のいく内容でした。
準決勝・決勝ラウンドはステージの上でやった方が見ていて応援する側も座って落ち着いていることができたように思う。後ろの方あ立ってみている生徒もいた。

アンケート記入のお願い

海と日本プロジェクト 子ども海のクイズ王プロジェクト「海のライブ・クイズイベント」を開催頂きありがとうございました。
 今回の「海のライブ・クイズイベント」にどのような感想やご意見を持っているかをお伺いする為、アンケートの記入をお願いいたします。
 ご回答頂きました内容につきましては、来年度以降の事業のさらなる充実に役立ててまいりますので、是非ご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。
 ※できましたら開催終了後、2週間以内に記入をお願いいたします。

実施日	2020年10月7日(水)
県名 市区町村名	長崎県長崎市
小学校名	長崎大学教育学部附属小学校
参加小学生人数	89人
記入日	2020年10月14日(水)

Q1 このイベントはいかがでしたか。また、その理由を教えてください。

①満足した ②満足しなかった ③どちらともいえない

理由

- ・感染症対策がしっかりとされていた
- ・子どもの知的欲求を満たす内容であった(レクチャー、クイズ)
- ・クイズ番組形式の展開を楽しめた

Q2 今回のイベントを通じて、先生が思ったことを自由にお書きください。

(気づいたこと・驚いたこと・こうしたほうが良い、何でもかまいません)

※イベント終了後の先生さんたちの行動に助けがありましたら、それもお聞かせください。

- ・レクチャーパートやクイズの答えの解説に画像があると分かりやすい
- ・歓声はあげられないが、マスクをしているので声は出してもよかったのではないかと(もっと盛り上がったかも)
- ・クイズという方法で伝えたいことを表現することができる。他の場面でも活用したい
- ・日程がややきつめだった。対象学年が下がると休憩10分では厳しいのではないかと

ご協力ありがとうございました。

アンケート記入のお願い

海と日本プロジェクト 子ども海のクイズ王プロジェクト「海のライブ・クイズイベント」を開催頂きありがとうございました。

今回の「海のライブ・クイズイベント」にどのような感想やご意見を持っているかをお伺いする為、アンケートの記入をお願いいたします。

ご回答頂きました内容につきましては、来年度以降の事業のさらなる充実に役立ててまいりますので、是非ご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

※できましたら開催終了後、2週間以内に記入をお願いいたします。

実施日	2020年10月16日(金)
県名 市区町村名	愛媛県松山市
小学校名	松山市立垣生小学校
参加小学生人数	141名
記入日	2020年10月23日

Q1 このイベントはいかがでしたか、また、その理由を教えてください。

①満足した ②満足しなかった ③どちらともいえない

理由

児童が楽しみながら、海について興味をもつことができたから。
海の生物、海に関わる仕事、海の問題、海に関する言葉など多岐にわたる内容で、それぞれの得意分野を持ち合いながら、楽しく取り組めた。

Q2 今回のイベントを通じて、先生が思ったことを自由にお書きください。
(気づいたこと・驚いたこと・こうしたほうが良い、何でもかまいません)

※イベント終了後の児童さんたちの行動に変化がありましたら、それもお願いします。

児童が、こんなにもクイズに夢中になることに驚きました。
③択クイズの一喜一憂ぶりや、早押し機に前のめりになって問題を聞き入っている様子を見て、このイベントに参加できてよかったと思います。

また、古川氏の出題の仕方や問の取り方に学ばせてもらいました。子どもの感想にも「乗せ上手」という言葉が多くありました。また、子どもが納得できるようにルールを明確にしたり、決勝に進んだ児童全員が早押し機を押せるようにしたりと細やかな配慮をしていただき、本当にありがたかったです。

正答の補助として、視覚的な資料が加わるとさらに楽しめ、学べるのではないかと思います。例えば、ペンギンの頭が三角になったところや初の気象台の場所を示す地図などです。

児童は、イベント後に海をきれいにすることやごみを出さない生活をするなど、未来の海について考えました。そこで、今出ヶ浜への清掃活動を実践することにしました。(市清掃課協力)

ご協力ありがとうございました。

アンケート記入のお願い

海と日本プロジェクト 子ども海のクイズ王プロジェクト「海のライブ・クイズイベント」を開催頂きありがとうございました。

今回の「海のライブ・クイズイベント」にどのような感想やご意見を持っているかをお伺いする為、アンケートの記入をお願いいたします。

ご回答頂きました内容につきましては、来年度以降の事業のさらなる充実に役立ててまいりますので、是非ご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

※できましたら開催終了後、2週間以内に記入をお願いいたします。

実施日	12月23日（水）
県名 市区町村名	広島県広島市佐伯区海老山南
小学校名	学校法人鶴学園 なぎさ公園小学校
参加小学生人数	66名
記入日	12月24日（木）

Q1 このイベントはいかがでしたか。また、その理由を教えてください。

①満足した ②満足しなかった ③どちらともいえない

理由

コロナ禍で様々な行事が中止となり、学校生活の中でも勉強の割合が多い子どもたちが、楽しくイベントに取り組み、学ぶ姿を見てとてもありがたい機会をいただけたと思っております。

Q2 今回のイベントを通じて、先生が思ったことを自由にお書きください。

（気づいたこと・驚いたこと・こうしたほうが良い、何でもかまいません）

※イベント終了後の先生さんたちの行動に気づかれましたら、それもお聞かせください。

環境問題もからめながら海のことについて学ぶことができていると思います。日頃の勉強が苦手な児童も、海のことなら詳しいようで、スポットライトが当たるいい機会になった児童が多く、とてもいい自信につながりました。

また、イベントでは河野アナウンサーをはじめ、スタッフの方々が本格的なクイズイベントになるようさまざまな工夫から会を盛り上げて下さったので、子どもたちの中では期待以上の思い出になったようです。

やはり海のこととなると男の子の方が詳しいようで（魚、釣りなど）、海に関するクイズの中でも女の子が正解しそうな内容があればいいかなと思います（すみません、具体的には難しいのですが・・・）。

この度は貴重な機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。準備等も含めて、今回の企画に携わって下さった皆様に感謝御礼申し上げます。

ご協力ありがとうございました。

アンケート記入のお願い

海と日本プロジェクト 子ども海のクイズ王プロジェクト「海のライブ・クイズイベント」を開催頂きありがとうございました。
 今回の「海のライブ・クイズイベント」にどのような感想やご意見を持っているかをお伺いする為、アンケートの記入をお願いいたします。
 ご回答頂きました内容につきましては、来年度以降の事業のさらなる充実に役立ててまいりますので、是非ご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。
 ※できましたら開催終了後、2週間以内に記入をお願いいたします。

実施日	令和2年 12月 11日
県名 市区町村名	石川県 金沢市
小学校名	大野町 小学校
参加小学生人数	5年 20名(18女) 6年 26名
記入日	令和2年 12月 11日

Q1 このイベントはいかがでしたか。また、その理由を教えてください。

- ①満足した 2 満足しなかった 3 どちらともいえない
理由

クイズの内容のレベルが丁度良く、子ども達がとても意欲的だったため。また、実際にクイズ番組のような押ボタンを使わせていただけなので、子ども達は とても嬉しかったと思う。本物のクイズ大会を味わえたため。

Q2 今回のイベントを通じて、先生が思ったことを自由にお書きください。

(気づいたこと・驚いたこと・こうしたほうが良い、何でもかまいません)
 ※イベント終了後の生徒さんたちの行動に変化がありましたら、それもお願いします。

このクイズをきっかけに、子ども達が少しでも海に興味を持ち、自分から「～について調べてみたいな」とか「～に行つて確かめたい」とか「～についてもっと勉強したいな」という思いをもってくれたらいいなと思う。

座席の配置の仕方が良かった。今回は5、6年の縦割り班で座席を配したが、それほど密ではなく、ある程度ソーシャルディスタンスをとれた。
果敢と高めてきた。子ども達の意見を

今回のクイズ形式は、決勝戦にいるチームはのべ10チームだったため、6チーム(実際は5チーム)はステージ前上に立てなかった。仕方ないことはあるが、教室に戻って戻てくられてしまう児童が数名いた。そのことで腹を立てたのは小学生の発達段階で仕方がないが、そういう行動・言動が (残念とバカ) ございました。あったことは伝えておきます。

別添資料

stay home with the sea
挑戦！海のクイズ王！

“海のクイズ”を解いて作って、SNSで波及！

事業概要

クイズ王こと古川洋平氏の全面協力のもと、「海」に関するなぞなぞや穴埋めワードクイズを動画で展開。クイズを通して海への理解を深めるとともに、クイズ王が“クイズ作りのコツ”をアドバイス。オリジナルの「海クイズ」を作成し、その投稿を促すことで、SNSでの活性化を狙う。



事業目標と成果

【目標】

- ・Youtube動画再生数
- ・ハッシュタグ数 (#海のクイズ王)
- ・本事業の軸である小学校への出前授業企画への布石として、クイズ王自身や、その周りの人の主体的な活動の促し・巻き込み



【成果】

- ・Youtube動画再生数 6819回
- ・本事業の軸である小学校への出前授業企画への布石として、クイズ王自身でのTwitterで情報の拡散を実施。古川氏個人のアカウントと連携しコミュニケーションを図った。

展開①

YouTube^{JP}にて無料のクイズ動画をアップロード



1動画につき5問（3分間）の海にまつわるクイズを、クイズ王である古川洋平氏が監修し、合計10本の「海のクイズ」を動画にてアップロード。

展開②

動画と併せ、特設サイトへクイズづくりのコツを



クイズ王が「クイズづくりのコツ」を順を追って紹介。ただクイズに答えるだけでなく、視聴者にも海の知識を深めながらクイズづくりを楽しんでもらう。

展開③

公式Twitterにてオリジナルクイズを募集



クイズ動画の拡散と、オリジナルクイズの募集をTwitterにて実施。古川氏の個人アカウントと連携・コミュニケーションによる波及を狙う。

クイズ動画YouTube視聴者数

stay home with the sea クイズ動画 アクセス数 6,819回再生

— 協力いただいた事業者一覧 —

- ・クイズ制作、コミュニケーション施策、全体プロデュース（カプリティオ）
- ・イラスト、ロゴ制作（津原）
- ・動画制作（東 稚英）

“海のクイズ”を解いて作って、SNSで波及！

SNSのトピック

クイズ王・古川洋平氏と海プロ公式アカウントが連携！



古川氏による告知投稿



海と日本プロジェクト公式アカウントの告知投稿
インプレッション：18,147

※5月8日時点の数字です

※お互いの投稿をリツイートし合うことでそれぞれのフォロワーにも投稿が波及し、高いインプレッションにつながりました。

公式Twitterを解説しクイズ王アカウントと連



クイズ王と投稿者で直接的なコミュニケーションを図るため、アカウントを開設。徐々に成果が見え始めた。

「中の人」とクイズ王で分担し、投稿にメリハリ



クイズ王動画の訴求と、オリジナルクイズの投稿募集について、定期的な言及。

クイズ王からのコメントに喜ぶ声も見受けられた



フォロワーが作成したオリジナルクイズへ、クイズ王からのコメントに喜ぶファンが多く見受けられた

エリア事務局も反応



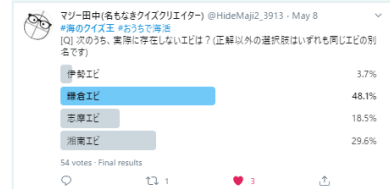
公式アカウントからの投げかけに、海プロ長野が反応

画像付きオリジナルクイ



この風景はどここの都道府県？という、画像を用いたオリジナルクイズも見られた。

アンケート形式の出題



公式アカウント開設時にサンプルとして作成したTwitterのアンケート機能が好評だった。文字入力での回答より気軽に（匿名で）参加できるため、多くの反応を得られた。

“海のクイズ”を解いて作って、SNSで波及！

SNSのトピック

【公式】挑戦！海のクイズ王 🏆 あずきっく · 5月22日
もう何なんだよ！（笑）でも「海のクイズを作って」と言われて、これの思いつくのはすごいです。他にも絶対面白いものを思いつく方なんだろうなと思って、つい選んでしまいました 😊 (古川)
#海のクイズ王

わたけん
Q：海水浴といえば日差しと水着姿がとても眩しいですがワンピース型ロングスパッツ型アプリー型炎天下の海水浴で肌の日焼け面積が一番大きくなるのはどれ？アプリー型

#海のクイズ王
Tweetを翻訳

ワンピース型 ロングスパッツ型 } アプリー型
日焼け面積が一番大きい

9:49 AM · 2020年5月20日 · Twitter Webアプリ

【公式】挑戦！海のクイズ王 🏆 あずきっく · 5月27日
本日は森さんの作品を。海は自分から見えるレベルで想像しがちですが、宇宙レベルで満ち引きが決まっています。解答動画もハイレベル！さすがの腕前です 😊 (古川)
#海のクイズ王

森アーティ @EveQ17
最近、凧を感じるので問題を1つ。#海のクイズ王

※「天体の大きさの比率」や「地軸の傾き具合」が正確でない事はご了承ください。
Tweetを翻訳

地球と月と海

地球と月が図の位置関係の時満潮になるのはどこでしょう？

Aのみ
BとD
AとC

午前12:12 · 2020年5月25日 · Twitter Webアプリ

インプレッション数

No.1

36,070

エンゲージメント総数

336

インプレッション数

No.2 34,338

エンゲージメント総数

147

エンゲージメント数

No.1 : 33,795/ENG352

【公式】挑戦！海のクイズ王 🏆 あずきっく · 2020/05/11
これは間違いやすい問題！僕も数年前まで違う答えで答えていましたが、変わらないと思うものでも、知識や認識が変わることがあるんですね。勉強になりました！ 😊 (古川)
#海のクイズ王

ガストロ @gasutoro... · 2020/05/07
海岸線の長さが最も長い都道府県は？
#海のクイズ王

クイズ王が間違いやすいと思う問題とは、一体どんなものなのか？！と、フォロワーの興味をひいた投稿。

インプレッション数

No.3 : 33,838/ENG171

【公式】挑戦！海のクイズ王 🏆 あずきっく · 5日
ひゃーっ！これは良い問題！ただの漢字クイズにすると物足りないけれど、こう出されると答えを閃いた時の気持ちよさが物凄いですね！ 😊 (古川)
#海のクイズ王

もじゃまる @moja_m... · 2020/05/13
Q. 日本の市の中で漢字の「海」で始まる市は3つあります。岐阜県海津市、和歌山県海南市と、あと一つはどこでしょう？
A. 海老名市（神奈川県）...

クイズ王自身が楽しんでいる様子がフォロワーにも伝わり、ファンの心を揺さぶった投稿。

インプレッション数

No.4 : 32,077/ENG105

【公式】挑戦！海のクイズ王 🏆 あずきっく · 2020/05/21
正式名称を知っている人は前フリで、知らない人でも「あるくだもの」のヒントで頼まれて答えられる可能性がある。解く人のレベルを問わない二段階構造が楽しく面白い一問ですね 😊 (古川)
#海のクイズ王

もじゃまる @moja_m... · 2020/05/19
Q. 「クビレスタ」が正式な和名である、その見た目からあるくだもの名前に付けられたイワシタ科に属する海藻はなんですか？
A. うぶぶどう...

クイズ王に褒められる投稿 = クイズファンにとっても興味深い投稿だった模様

“海のクイズ”を解いて作って、SNSで波及！

実際のクイズ動画 (vol. 6)

Q1 漢字クイズ


この漢字で表される魚は何でしょう？

鯖




Q2 なぞなぞ

中に車を入れることができる
海の生き物ってなーんだ？



Q3 どっち?どっち?クイズ


「西京焼き」と「幽庵焼き」。
ゆずの香りをつけたタレで
魚をやく調理法はどっち？



Q4 穴埋めワードクイズ

次の [?] に入る魚の名前は何でしょう？


このマグロの [?] いいね！



Q5 四択クイズ

「流氷の天使」とも呼ばれるクリオネの和名は何でしょう？

①ハダカカメガイ ②トウメイヒカリガイ
③リュウグウヒメガイ ④カイガラオルスガイ



Q1 漢字クイズ

正解：サバ


この漢字はもともと他の淡水魚を表していた漢字だったのですが、青々としたサバの身を表現していることから、サバを表す漢字になったと言われています。



Q2 なぞなぞ

正解：シャコ


シャコ……そう、「車庫」は中に車を入れるためにありますもんね！
お寿司屋さんでは、お茶をアガリ、しょうゆをムラサキというようなよび方をすることがあり、シャコの事を「ガレージ」と呼ぶお店もあるんだとか。



Q3 どっち?どっち?クイズ

正解：幽庵焼き

江戸時代に茶人の北村幽庵が作ったとされています。
江戸時代にできた食べ方が今でも使われているのはすごいですよね。



Q4 穴埋めワードクイズ

正解：カツオ (このマグロのカツおいしいね！)


トンカツやチキンカツだけではなく、お魚で作ったカツもとってもおいしいんですよ！ カレー風味の「フィッシュカツ」は徳島県のソウルフードとも言われています。



Q5 四択クイズ

正解：①ハダカカメガイ

日本では北海道で見える事ができるクリオネは「ハダカカメガイ(裸亀貝)」という変わった和名を持っています。クリオネは他の貝を食べて生きてるので、海の酸性化で、将来はクリオネも見られなくなってしまうかもしれないですよ。



“海のクイズ”を解いて作って、SNSで波及！

実際のクイズ動画 (vol.7)

Q1 漢字クイズ

この漢字で表される魚は何でしょう？

鱒

Q1 漢字クイズ

正解：サッパ

味がサッパリしているところから名前がついたとされています。岡山県では郷土料理に使われ「ママカリ」という別名があります。あまりの美味しさにとりのご飯(ママ)をかりて(カリ)でも食べたくなる、という意味なんだそうです。

Q2 なぞなぞ

食べる時に「チュッ」と音がする魚ってなーんだ？

Q2 なぞなぞ

正解：キス

キスをする時、「チュッ」と音がしますよね！日本近海では特にシロキスというしゅるいがよく見られ、つりでも人気の魚です。

Q3 どっち?どっち?クイズ

魚拓をとる時のコツ。魚を「よく洗う」「洗ってはいけない」のうち、どっち？

Q3 どっち?どっち?クイズ

正解：よく洗う

魚に墨をぬり、紙に写しとる「魚拓」。表面のぬめりなどをよくあらう流す事で、鱗のおうとつなども鮮明に写しとる事ができます。

Q4 穴埋めワードクイズ

次の「？」に入る魚の名前は何でしょう？

このサケの「？」ん色をしている

Q4 穴埋めワードクイズ

正解：カワハギ (このサケの皮は銀色をしている)

カワハギは全身をざらざらした皮でおおわれていますが、料理の時にはかんたんにはがす事ができるため、その名がつけられました。特においしい肝の部分は「海のフォアグラ」と呼ばれる事もあります。

Q5 四択クイズ

マグロの一種「メバチ」。その名前の由来はどれでしょう？

- ① 目がバチッと大きいから
- ② メスのハチのようなシマ模様を持つから
- ③ ドイツ人のルドルフ・メバチはかせが発見したから
- ④ 昔「女蚌(めばち)」という地区でよくとれたから

Q5 四択クイズ

正解：①目がバチッと大きいから

メバチは英語でも「Bigeye tuna (目の大きいツナ)」と呼ばれているマグロです。このまま海の温暖化などの問題が進むと、2050年には日本近海ではとれなくなってしまうかもしれません。

“海のクイズ”を解いて作って、SNSで波及！

実際のクイズ動画 (vol. 8)

Q1 漢字クイズ

この漢字で表される魚は何でしょう？

鮪

Q1 漢字クイズ

正解：ブリ

漢字の由来はいくつかあり、「師走(12月)に美味しい魚だから」、「師という字は大きな魚を意味するから」などの説があります。



Q2 なぞなぞ

カメがいきなりやってきた事におどろいている海藻ってなーんだ？

Q2 なぞなぞ

正解：ワカメ

カメがいきなりやってきたので、「ワッ! カメ!」とおどろいたんですね。日本では古くから乾燥させやすく遠くへ運ぶのもかんたんだったため、広く食べられてきました。



Q3 どっち?どっち?クイズ

三陸海岸南部のようなギザギザした地形の海岸をさすのは「リアス式海岸」「ダルマチア式海岸」のうち、どっち？

Q3 どっち?どっち?クイズ

正解：リアス式海岸

ノコギリの歯のようにギザギザした海岸の事を「リアス式海岸」と呼びます。このような海岸は港を作るのにきてしており、良い漁場となっています。

Q4 穴埋めワードクイズ

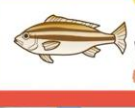
次の ? に入る魚の名前は何でしょう？

つりすぎた魚の
もら ? をさがしています

Q4 穴埋めワードクイズ

正解：イサキ (つりすぎた魚のもらい洗をさがしています)

食用やつりで人気のあるイサキは、漢字では「鶏魚」とあらわすことがあります。これはイサキのせびれが、鶏のトサカに似ているためです。



Q5 四択クイズ

お寿司屋さんの数が、人口あたり最も多い都道府県はどこでしょう？

- ① 静岡県 ② 宮城県
③ 東京都 ④ 山梨県

Q5 四択クイズ

正解：④山梨県

いわゆる「海なし県」である山梨県がいがいにも1位なんです。江戸時代から、酢飯・酢じめ・醤油漬けなどの技法で、長いきよりを運ぶ工夫がされていたのです。

“海のクイズ”を解いて作って、SNSで波及！

実際のクイズ動画 (vol. 9)

Q1 漢字クイズ

この漢字^{あらいわ}で表される魚は何でしょう？

鯉

Q2 なぞなぞ

ゴロゴロした岩が4つある海でとれた魚ってなーんだ？

Q3 どっち?どっち?クイズ

日本初の国立公園となったのは「瀬戸内海」「三陸海岸」のうち、どっち？

Q4 穴埋めワードクイズ

次の [?] に入る魚の名前は何でしょう？

僕は海にかんする勉強 [?] 剣だ

Q5 四択クイズ

次のうち、主にカツオの内臓を使った、しおからの名前として実在するのはどれでしょう？

①酒盗 ②時盗 ③味盗 ④金盗

Q1 漢字クイズ

正解：ムロアジ

ムロアジは伊豆諸島で作られる干物「くさや」のざいりょうとしておなじみの魚です。このくさやを作る時に使う液を魚室(むろ)とよんでおり、そこからこの名前がついたとされています。

Q2 なぞなぞ

正解：イワシ

岩が4つ、岩4……イワシ、というわけですね！日本のイワシは大きく「マイワシ」「ウルメイワシ」「カタクチイワシ」に分類されます。

Q3 どっち?どっち?クイズ

正解：瀬戸内海

日本初の国立公園に指定された瀬戸内海は、縄文時代から今まで漁業がさかんで、弥生時代にはタコツボによるタコ漁が行われていた事が出土品から明らかになっています。

Q4 穴埋めワードクイズ

正解：ニシン (僕は海にかんする勉強に真剣だ)

ニシンは日本では古くから春を告げる魚「春告魚」と呼ばれ人々に親しまれてきました。世界中で食べられ、とくにスウェーデンのニシンのかんづめ「シュールストレミング」は強烈なおいにする食品として有名です。

Q5 四択クイズ

正解：①酒盗

お酒を盗むと書いて「酒盗(しゅうとう)」と読みます。これを食べながらお酒を飲むと「お酒を盗んでも飲みたくなる」ことが由来だそう。しおからの文化は、魚を長期間おいしく保つための伝統の技法です。

“海のクイズ”を解いて作って、SNSで波及！

実際のクイズ動画 (vol.10)

Q1 漢字クイズ

この漢字で表される魚は何でしょう？

鱻

Q2 なぞなぞ

しょうゆのシミはなかなか落ちないけど、しょうゆにつけるとおいしいシミってなーんだ？

Q3 どっち?どっち?クイズ

おいしい貝で有名な牡蠣の別名は「海のミルク」「海のパイナップル」のうち、どっち？

Q4 穴埋めワードクイズ

次の [?] に入る魚の名前は何でしょう？

この魚の像には [?] ないでください

Q5 四択クイズ

お寺にある魚といえば「木魚」。

どうして「魚」という字が使われているでしょう？

① 魚が好きなお坊さんが作ったから
② もともと魚の骨で作られていたから
③ 魚がねむりを戒めると思われていたから
④ 魚がねむるようにボクボクと呼ぶことから

Q1 漢字クイズ

正解：ハタハタ

秋から冬にかけての雷がなりやすい時期に海岸にやって来る事が由来です。ハタハタを塩漬にした時に出る汁は「しょっつる」という名前が調味料として使われます。

Q2 なぞなぞ

正解：刺身

「おさしみ」という言葉の中に「シミ」がかくれているんですね！刺身という言葉は、生魚を切り身にしたりと何でも魚がわかるようにするため、印として尾ひれを刺していた事に由来するとされています。

Q3 どっち?どっち?クイズ

正解：海のミルク

身が乳白色である事と、ミルクのように豊富な栄養がある事からそう呼ばれるようになりました。「海のパイナップル」は、パイナップルに見た目がにているホヤの別名として知られています。

Q4 穴埋めワードクイズ

正解：サワラ (この魚の像にはさわらないでください)

サワラは体が細長い事から「狭い腹」から転じて「狭腹(さわら)」という名がついたという説があります。

Q5 四択クイズ

正解：③ 魚がねむりを戒めると思われていたから

かつて魚はねむらないと考えられていました。木魚をたたく事で、ねむらない魚にあやかっかねむりげましになるという理由から、この名前が用いられるようになりました。